

春先に紫色の花を咲かせる、ハナダイコン、ショカツサイ、ムラサキハナナ、オオアラセイトウは、よく混同されます---というよりも名称が混乱しています、アブラナ科という点では共通なのですが、整理すると以下のようになります。

- ・ハナダイコン（花大根）；アブラナ科の種の正式な和名。学名 *Hesperis matronalis*
- ・オオアラセイトウ（大紫羅欄花）；アブラナ科の種の正式な和名。学名: *Orychophragmus violaceus*
- ・ムラサキハナナ（紫花菜）；オオアラセイトウの別名（別称）の一つ。主に園芸名として通用。
- ・ショカツサイ（諸葛菜）；これもオオアラセイトウの別名の一つ。

厄介なのは、オオアラセイトウも「ハナダイコン」と呼ばれることがあることです。しかし別種の和名ですので、これは誤りで正さなければいけません。東京にはハナダイコンよりもオオアラセイトウのほうが多く、子どもたちが「ハナダイコンです」と摘んでくるのは、大抵はオオアラセイトウです。

今の時期、四ツ谷駅から中央線の東京方面に乗ると、御茶ノ水駅あたりまで、左右の土手にオオアラセイトウがたくさん咲いています。特に四ツ谷駅のホームからは「満開の」オオアラセイトウが見えます。

(2025年3月下旬／中央線四ツ谷駅)

